

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 12 日 (2017.1.12)

【公表番号】特表 2015-516913 (P2015-516913A)

【公表日】平成 27 年 6 月 18 日 (2015.6.18)

【年通号数】公開・登録公報 2015-039

【出願番号】特願 2015-505778 (P2015-505778)

【国際特許分類】

B 6 0 K 11/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 K 11/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 25 日 (2016.11.25)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 9】

第 1 ブラケット本体 2 0 は、据付部分 4 0 及び支持部分 4 2 を有する細長の本体部材 3 8 を含む。一对の側縁 4 4 が細長の本体部材 3 8 の長さ部分に沿って延在する。溝 2 6 は一对の側縁 4 4 の間の概して中心に位置する。溝 2 6 は細長の本体部材 3 8 の長さ部分に延在する。溝 2 6 はロッド 2 4 の一部を嵌合受容するように構成される。具体的には、ロッド 2 4 の一部は、ロッド 2 4 の支持部分 4 2 内に配置された溝 2 6 の部分に据え付けられる。ロッド 2 4 はスポット溶接の適用によって溝 2 6 に取り付けられうる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 0】

各側縁 4 4 は、車両部品 1 2 の受容部分と係合するようになっているフランジ 4 6 を含む。フランジ 4 6 は第 1 ブラケット本体 2 0 の据付部分 4 0 の第 1 端部上に配置される。フランジ 4 6 は細長の本体部材 3 8 に対して上向きに広がっている。特に、フランジ 4 6 は、図 4 に例示的に示されるように、スナップ嵌合の態様で絶縁スリーブ 3 6 の底面と嵌合係合するようになっている。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 1】

ブラケット組立体 1 1 0 は第 4 ブラケット本体 7 2 を更に含む。第 4 ブラケット本体 7 2 は、第 1 ブラケット本体 1 2 0、第 2 ブラケット本体 1 2 2 及び第 3 ブラケット本体 1 3 2 に対して別部品としてスタンピングされうる。第 4 ブラケット本体 7 2 は第 1 平面部材 7 4 及び第 2 平面部材 7 6 を含む。第 1 平面部材 7 4 は第 1 ブラケット本体 2 0 の上縁に対して外側に延在する。第 1 平面部材 7 4 は、概して「L」形状の部材を画定するように第 2 平面部材 7 6 に概して直交している。第 4 ブラケット本体 7 2 は、開口 2 8 f を有

する半球部分 7 8 を含み、開口 2 8 f はブラケット組立体 1 1 0 を車両構造体 1 1 8 に取り付けられるように構成される。ボルト 1 3 0 のような機械的な締結装置が、エンジンコンパートメント 1 1 4 内にブラケット組立体 1 1 0 を繋止するのを補助するように開口 2 8 f を通して嵌合されうる。ロッド 1 2 4 の第 3 中間部分 7 0 は第 1 平面部材 7 4 に固定される。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンパートメントの空間内の構造体に部品を据え付けるように構成されたブラケット組立体であって、

細長の本体部材を有し、前記部品と係合するように構成された第 1 ブラケット本体と、第 2 ブラケット本体であって、前記コンパートメント内の前記構造体に該第 2 ブラケット本体を繋止するように機械的な締結具を受容するようになっており、前記第 1 ブラケット本体の端部に配置され且つ前記第 1 ブラケット本体の側縁から外側に延在する第 2 ブラケット本体と、

第 3 ブラケット本体であって、ロッド部分と、該第 3 ブラケット本体を前記コンパートメント内の前記構造体に取り付けるための支持表面とを有し、第 2 取付部分に対して角度が付けられた第 1 取付部分を含む第 3 ブラケット本体と、

前記第 3 ブラケット本体のロッド部分及び第 1 ブラケット本体の両方に据え付けられたロッドであって、前記コンパートメントの利用可能な空間内に前記部品を収めるように構成された態様で成形されるように、耐久性を有する弾性材料から形成されたロッドとを具備し、

前記ロッドが、第 1 部分、中間部分及び自由端部分を画定するように第 2 屈曲部から離間された第 1 屈曲部を含み、該第 1 屈曲部が前記第 1 部分と前記中間部分との間に配置され、前記第 2 屈曲部が前記中間部分と前記自由端部分との間に配置され、前記第 1 部分が前記第 1 ブラケット本体に固定され、前記中間部分が前記第 1 ブラケット本体から離れるように延在し、前記自由端部分が前記第 2 ブラケット本体と概して平行であり、前記ロッドの自由端部分が前記第 3 ブラケット本体のロッド部分に固定されるように据え付けられる、ブラケット組立体。

【請求項 2】

前記第 1 ブラケット本体が、さらに、前記細長の本体部材の長さ部分に沿って同軸状に延在する溝を含み、前記ロッドの第 1 部分が前記溝に据え付けられる、請求項 1 に記載のブラケット組立体。

【請求項 3】

前記第 1 ブラケット本体が、さらに、該第 1 ブラケット本体の第 1 端部上に配置された一对のフランジを含み、該フランジが前記部品に取り付くように構成される、請求項 1 に記載のブラケット組立体。

【請求項 4】

前記第 1 ブラケット本体及び第 2 ブラケット本体が一体的に形成される、請求項 1 に記載のブラケット組立体。

【請求項 5】

前記第 2 ブラケット本体の自由端部が、概して円形であり、該第 2 ブラケット本体を前記構造体に取り付けるように構成された機械的な締結具を受容するように構成された開口を含む、請求項 1 に記載のブラケット組立体。

【請求項 6】

前記第 2 ブラケット本体が、さらに、前記第 1 ブラケット本体の側縁に近接した該第 2

ブラケット本体の近位端部上に配置されたリブを含み、該リブが前記第 1 ブラケット本体に対する寸法におけるフレキシビリティを可能とするように構成される、請求項 1 に記載のブラケット組立体。

【請求項 7】

前記コンパートメントが車両のエンジンコンパートメントであり、前記部品がポンプ組立体であり、該ポンプ組立体が、ポンプハウジングと、該ポンプハウジングを受容するように構成された絶縁スリーブとを含む、請求項 1 に記載のブラケット組立体。

【請求項 8】

前記ロッドが、第 1 部分、第 1 中間部分、第 2 中間部分、第 3 中間部分及び自由端部分を画定するように他の屈曲部からそれぞれ離間された第 1 屈曲部、第 2 屈曲部、第 3 屈曲部及び第 4 屈曲部を含み、前記第 1 屈曲部が前記第 1 部分と前記第 1 中間部分との間に配置され、前記第 2 屈曲部が前記第 1 中間部分と前記第 2 中間部分との間に配置され、前記第 3 屈曲部が前記第 2 中間部分と前記第 3 中間部分との間に配置され、前記第 4 屈曲部が前記第 3 中間部分と前記自由端部分との間に配置される、請求項 7 に記載のブラケット組立体。

【請求項 9】

前記第 1 ブラケット本体が、前記細長の本体部材の長さ部分に沿って同軸状に延在する溝を含み、前記ロッドの第 1 部分が前記溝に据え付けられ、前記第 1 中間部分が前記第 1 ブラケット本体から離れるように延在し、前記第 2 中間部分が前記第 2 屈曲部から延在し且つ前記第 1 ブラケット本体と概して平行であり、前記第 3 中間部分が前記第 3 屈曲部から延在し且つ前記第 2 ブラケット本体と概して平行であり、前記自由端部分が前記第 4 屈曲部から延在し且つ前記第 1 ブラケット本体と概して平行である、請求項 8 に記載のブラケット組立体。

【請求項 10】

さらに、第 1 平面部材及び第 2 平面部材を有する第 4 ブラケット本体を含み、前記第 1 平面部材が前記第 2 平面部材と概して直交し、前記ロッドの第 3 中間部分が前記第 1 平面部材に固定され、前記第 2 平面部材が前記エンジンコンパートメント内の前記構造体に取り付くように構成される、請求項 9 に記載のブラケット組立体。